

# 基本的なコンピュータ操作技能の定着を目指した指導の工夫

～連携型中高一貫教育の技術・家庭科における交流授業を通して～

情報教育班 木村雅士（中学校教諭）

## 課題設定

### 生徒の実態

コンピュータ操作の技能が定着しない

### 原因分析

- ・マウス操作がうまくできない
- ・ローマ字入力がうまくできない
- ・タイピングの仕方が我流である

### 自己課題

- ・中学校と高等学校の系統立てた指導がなされていないため、基本的な技能が身に付かないまま高等学校へ進学していること。
- ・多くのソフトウェアの機能を学習させようとして、学習内容が多くなってしまった。

## 連携型中高一貫教育の交流授業を工夫

## 課題解決策 1：系統立てた題材

### 学習内容の工夫

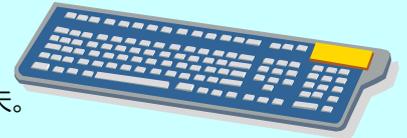
- ・高等学校で行っている毎時間のタイピング練習を中学校でも年間通して実施。高等学校と同じ問題で実施し、基本操作の定着を図る。

### 題材の工夫

- ・高等学校の学習内容を見て、中学校のソフトウェアの学習題材を工夫。

### 高校の教員からのアドバイス

- ・高校生の実態の紹介を通し、「ホームポジション」等の基本技能の大切さをアドバイス。
- ・中学校の学習がもとになる高校での発展した学習の紹介。



## 課題解決策 2：ICT利用

### 生徒の理解を深める工夫

- ・言葉だけの説明でなく、実物投影机で教師が操作しているマウスやキーボードの様子をプロジェクタで投影し操作説明。
- ・作品の工夫点やコンピュータ操作など二つのものを比較しやすいように、プロジェクタを並べて設置。

## 成 果

- ・技能の定着が見られ、技能の伸びが見られた。
- ・生徒の視覚にうたえることができ、操作にますます生徒が減った。
- ・高校の教員のアドバイスで、生徒が学習に見通しをもち、意欲的に学習に取り組んだ。

## 課 題

- ・生徒に提示する題材は、生徒の実態に合わせた数字や言葉を使った題材を開発しなければならない。
- ・TTを生かし、生徒の実態に合わせた習熟度別学習や発展的な学習題材を使った授業を展開していきたい。